



新年のごあいさつ

蒲郡市社会福祉協議会会長

牧 原 幹 夫

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には健やかな新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。日頃は社会福祉協議会の活動につきまして、ご理解とご協力を頂いており厚くお礼を申し上げます。

皆様方もご存じの通り、人生 80 年の長寿の時代に入っておりまして、皆が長生き出来るようになってまいりました。蒲郡市の高齢者の状況は、昨年 4 月の時点で高齢者率は 21.8%、4.6 人に一人が 65 歳以上のお年寄りという現状であり、一人暮らし老人の方は 1,833 人、在宅寝たきりの方（含認知症）は 103 人という状況でありまして、少子化と共に高齢化は更に進んでいくものと思われます。

このため私共社会福祉協議会といたしましては、行政との連携を密にしながら、高齢者の福祉対策を最重要課題として今年も各種の事業を進める考えでおります。介護保険事業では要介護認定調整やケアプランの作成の外、昨年の法改正に伴い、地域包括支援センター業務を実施し、新たな予防介護や相談支援活動も行ってまいります。指定事業者としては居宅介護サービス利用者の立場に立って提供するよう努めてまいります。その他在宅老人給食サービス事業、一人暮らし老人の安否確認や交流会の開催、在宅福祉サービスふれあい蒲郡の事業等も引き続き実施してまいります。元気なお年寄りの対策として老人福祉センターでのふれあい入浴や憩いの場としての休養娯楽活動の推進、高齢者訪問、高齢者レクリエーション大会、又皆様方老人クラブへの活動助成も引き続き実施してまいりますのでよろしくお願ひいたします。

人間の一番の幸せは健康であります。体の健康は勿論のこと、心も健康でなければ楽しい生活は出来ません。老人クラブ連合会会員の皆様には本年も健康で生きがいを持って活動をされます事をご祈念申し上げまして、新年の挨拶といたします。



年頭挨拶

蒲郡市老人クラブ連合会会長

石 田 昭 一

新年あけましておめでとうございます。

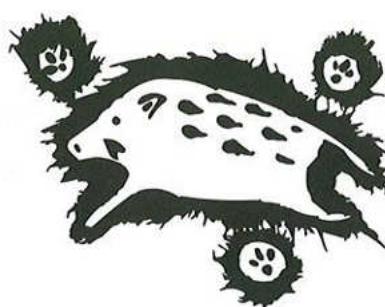
会員の皆さんには健やかな新年を迎え、ご健勝のこと心からお祝い申し上げます。日頃は、蒲郡市老人クラブ連合会の運営について、温かいご理解と格別のご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

わが国は、これまで経験したことのない超高齢者時代に突入しようとしています。とりわけ戦後生まれの人口規模の大きいいわゆる「団塊世代」が高齢者の仲間入りをする 2015 年には、国民の 4 人に 1 人が高齢者という、まさに超高齢者が待ち構えています。このような時代においては、高齢者自らが社会の活力の担い手としてご活躍していただくことが求められています。

そして、誰もが健康で安心して、心豊かに生き生きと生涯を送り、長生きして本当に良かったと誇りを持って実感できる、そんな地域社会づくりを築き上げていくことが大切であります。

さて新春を迎える 1 月 5 日「市老連カラオケ大会」、1 月 9 日（西浦・形原・塩津地区）10 日（小江・府相・東部・北部・蒲郡・三谷・大塚地区）「熱田神宮初詣」、3 月 4 日「福祉まつり」と大きな行事が計画されています。会員のみなさま、この行事をとおして私達クラブ活動の目標である、健康づくり、友愛活動、伝承活動を幅広く推進されることを念願申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様やご家族にとって健康で“幸”多い年でありますように心からお祈りし、併せて蒲郡市老人クラブの発展に、なお一層のご支援を賜りますことを切に望んで新年のご挨拶とさせていただきます。



もっと楽しく。

2
2007.11

もっと生き生き。